

## 平成 27 年度第 2 回岩手県地方独立行政法人評価委員会 結果概要

### 1 開催日時

平成 27 年 8 月 5 日 13 時 30 分～14 時 30 分

### 2 開催場所

盛岡市駅西通 1-7-1

いわて県民情報交流センター アイーナ 会議室 802

### 3 議事

- (1) 地方独立行政法人岩手県工業技術センター平成26事業年度業務実績に関する評価報告書(案)について
- (2) 地方独立行政法人岩手県工業技術センター平成26年度財務諸表に係る知事の承認について
- (3) 地方独立行政法人岩手県工業技術センターの剰余金の翌事業年度への繰越しに係る知事の承認について
- (4) 地方独立行政法人岩手県工業技術センター第3期中期目標(案)について

### 4 出席者

- (1) 岩手県地方独立行政法人評価委員・専門委員  
西崎滋委員(委員長)、室井麗子委員、下田栄行委員、恒川かおり委員、工藤昌代委員、加藤碩一専門委員
- (2) 地方独立行政法人岩手県工業技術センター  
小田島智弥理事長ほか岩手県工業技術センター職員
- (3) 事務局(県商工労働観光部ものづくり自動車産業振興課)  
高橋喜勝商工労働観光部ものづくり自動車産業振興課総括課長ほか総務部人事課・商工労働観光部商工企画室・商工労働観光部ものづくり自動車産業振興課職員

### 5 議事要旨

(表現は「ですます調」に変換しています。)

#### 【事務局】

本日は、委員・専門委員の6名全員の皆様にご出席いただいておりますので、「地方独立行政法人法施行条例第5条第2項」に基づき、委員会を開催するために必要な定足数を満たしていることをご報告いたします。

#### 【西崎委員長】

まず、本日の委員会の公開の取扱いについてお諮りします。

「岩手県地方独立行政法人評価委員会運営規程」に基づき、本日の会議の内容を公開で進めさせていただきますことを提案しますが、よろしいでしょうか。

(一同 異議なし)

【西崎委員長】

では、本日は公開ということで進めさせていただきます。

議事(1)

【西崎委員長】

それでは、議事(1)「地方独立行政法人岩手県工業技術センター平成26事業年度業務実績に関する評価報告書(案)について」事務局より説明願います。

【事務局】(資料1～3により説明)

【西崎委員長】

ありがとうございました。

評価報告書の(案)5段階評価につきましては、各委員の評価の平均点により事務局が付与したのですが、委員の意見が分かれた点を中心に議論を進めたいと思います。

まず、復興支援業務については4名がAA評価ということで委員会案もAAでよろしいでしょうか。

(一同 異議なし)

では、復興支援業務については案のとおりといたします。

【西崎委員長】

次に、技術相談についてはAA3名、A3名と意見が分かれており、事務局案としてはAとなっておりますが、これについてご意見を願います。

【加藤専門委員】

技術相談については個別の内容についてはチェックできませんので件数で外形的に評価しなければなりません。AAもAも良い評価ということで判断に差はないと思われ。震災直後のように特別困難な状況の中で件数をあげたということではないのでA評価としましたが、AAとAとに委員の判断が分かれたことが妥当と思われ。

【室井委員】

私もAとしましたが、これまでどおり着実に基本サービスを行っているということで良い評価ということです。復興支援業務について力を入れているということで、そちらはAA評価としましたが、こちらについて評価を下げたというわけではありません。

【西崎委員長】

それでは、技術相談についてはA評価ということでよろしいですか。

(一同 異議なし)

【西崎委員長】

次に依頼試験等ではAが4名でA評価となっておりますが、機器貸出につきましてはAAとAが3名ずつと分かれています。いかがいたしましょうか。

**【工藤委員】**

機器貸出については件数が目標値を大きく上回っていますが、昨年度の実績も見ますと、もしかすると目標値がもう少し上になっても良いのではないかと感じます。

**【西崎委員長】**

工業技術センターでは技術相談を受けたり、研究業務などもあり、いろんな業務がある中で機器貸出も行っています。次から次へと目標値を上げていくと他の業務への影響があるかもしれないので、その時々判断で業務量を按分していただくのが良いと思います。

**【加藤専門委員】**

単年度の評価だけではなく、中期計画期間についてどのような経緯でこのような状態になっているのかを踏まえて第3期の計画に反映させていくのが良いのではないのでしょうか。

**【西崎委員長】**

機器貸出など件数で評価するものは、顧客満足度と異なり、毎年度の目標値があるが、加藤専門委員のご意見のとおり、各年度の実績で毎年目標値を上げ下げするのではなく、中期的に判断するべきかと思われます。事務局、工業技術センターはいかがお考えでしょうか。

**【事務局】**

各業務のバランスが重要と考えております。議事（4）で第3期中期目標（案）をご提案いたしますが、その考え方の中でも業務バランスについても盛り込ませていただいております。

**【西崎委員長】**

他にご意見がないようでしたら、依頼試験等についてはA評価、機器貸出についてもAAとAに意見が分かれておりますが、良い評価という意味でA評価ということよろしいですか。

（一同 異議なし）

**【西崎委員長】**

他の小項目では、13ページの安全衛生マネジメントについてはAA評価が4名となっておりますが、それ以外については大きく意見が分かれることはないかと思えます。皆様から意見交換等が必要と思われる点などありましたらお願いいたします。

（意見・質問なし）

ご意見がないようですので評価については案のとおりといたします。

**【西崎委員長】**

それでは次に、大項目ごとの評価と評価書（案）に記載するコメントですが、大項目ごとに読み上げながら確認いたします。

（「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置について」のコメントを読み上げ）

技術相談部分では「対応しきれない専門分野は他を紹介」を「対応しきれない専門分野は他の機関を紹介」に修正、県等からの受託研究部分では「目標を立てることが肝要」を「目標を立てることが肝要である」に修正、講習会部分では「受講者アンケートでは、」を「講習会の受講者ア

ンケートでは」に修正、特許実施許諾部分では「今年は目標を達成しましたが、」を「今年度は目標を達成しましたが、」に修正願いたいと思います。

評価については平均点4.0ということでA評価ということですが、皆様からご意見等ありませんか。なければ、評価はAとし、以上のコメントの修正でよろしいですか。

(一同 異議なし)

#### 【西崎委員長】

(「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するために取るべき措置について」のコメントを読み上げ)

評点については平均4.1点ということで、A評価相当となります。コメントについてですが、「女性休養室兼託児ルームの設置は評価できるが、育児や介護などの事情を抱える男性職員へのフォローも期待する」とあります。確認ですが、例えば育児休業がとれないとか託児ルームが使用できないとか、男性職員について不利な点はありますか。

#### 【事務局】

ございません。

#### 【下田委員】

セクハラ・パラハラの相談担当者の設置や託児ルームは平成25年度から制度があり、新しい取組ではないですが、継続事項もコメントとして記載していくのでしょうか。

#### 【工業技術センター (小田島理事長)】

平成25年度に設置しましたが、平成26年度に運用の見直しや環境整備を行い、利用しやすくなったと考えています。

#### 【加藤専門委員】

制度は平成25年度からあり、男性職員も対象になっているけれども、一般的に見ても実際に男性職員が育児休暇をとるようになっているかといことを考えると、一層の取組を期待してコメントすることも良いのではないのでしょうか。

#### 【西崎委員長】

それでは、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するために取るべき措置について」の項目については、評価A、コメントとして「男性職員への『一層の』フォローを期待する」と「一層の」を加えることとしてはいかがでしょうか。

(一同 異議なし)

#### 【西崎委員長】

(「財務内容の改善に関する事項」のコメントを読み上げ)

評点については平均4.0点ということで、A評価相当となります。コメントについてですが、「競争的外部資金獲得金額は震災前と比較して大幅に減少している」とありますが、復興予算による研究が終了しただけではないということですか。

**【事務局】**

外部資金獲得金額が減少した理由は、復興予算による研究が平成25年度で一斉に終了したことです。震災前と比較して大幅に減少しているご指摘もありますのでそれについても盛り込んでおります。

**【工業技術センター】**

震災前の外部資金獲得額が年1億円程度、26年度が3千3百万円ですので実際に減少しております。

**【西崎委員長】**

「大幅に」というと怠けていたようにも受け取られるのではないのでしょうか。

**【事務局】**

震災復興に係るプロジェクト研究が終了しましたので、特殊事情という面があります。

**【工業技術センター】**

震災復興に係る外部資金研究は、個々の事業費が小さいものでしたが、企業の要望に応えるべく多くの件数を実施しました。その一方、復興予算による研究等の終了を踏まえ新たな外部資金の獲得にも前向きに取り組みました。

**【加藤専門委員】**

復興支援に関して、金額は小規模だが多様な取組をしていることがわかるようなコメントにしたほうがよいと思われれます。

**【西崎委員長】**

加えて「復興予算による研究の終了により」と、コメントに加えてはいかがでしょうか。文面についてはお任せいただきたいと思います。

(一同 異議なし)

**【西崎委員長】**

(「その他業務運営に関する重要事項」のコメントを読み上げ)

**【西崎委員長】**

評点については平均4.0点ということで、A評価相当となります。ご意見等ありますか。

**【加藤専門委員】**

外部人材やOBの活用も重要で、ある特定分野の技術を持つ職員が退職すると企業の相談先がなくなってしまいます。

**【西崎委員長】**

他にご意見がなければ、案のとおりということでよろしいですか。

(一同 異議なし)

**【西崎委員長】**

(「総合評価」のコメントを読み上げ)

各項目がA評価ですので、総合評価もAでよろしいかと思いますが、コメントについては「て

におは」の修正が必要かと思えます。

**【加藤専門委員】**

「取り組めている」は「取り組んでいる」でしょうか。

**【西崎委員長】**

「目覚しい成果がある」は「目覚しい成果を上げている」と修正いたします。その他ご意見等ありますか。

**【加藤専門委員】**

追加コメントというわけではなく感想ですが、岩手県工業技術センターの活動は、他の公設試験研究機関と比べてレベルが高いと感じています。評価にあたっては、一人当たりの件数など、他の機関との比較できるデータがあると客観的な判断ができます。東京都のような規模の異なる機関とではなく、東北各県など同規模の機関と比較することについてご検討をお願いします。

**【事務局】**

どのようなデータについて比較できるかや、比較対象機関の規模の範囲などについて、今後研究させていただきたいと思えます。

**【西崎委員長】**

他にご意見ありませんか。

(意見・質問なし)

ないようですので、資料2のコメントの文言を修正のうえ評価報告書(案)とさせていただきます。

なお、岩手県工業技術センターには意見申立ての機会を付与することとなっており、意見申立てがあった際には、別途事務局から対応を求められることがあることを申し添えます。

**【事務局】**

では、事務局から修正箇所の確認をいたします。

主な事項として、資料1の15ページ、「財務内容の改善に関する事項」のコメントに、「復興支援に関して、競争的外部資金の獲得金額は小規模だが多様な取組をしていること」、「復興予算による研究が終了したこと」を加えます。その他、1ページ「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置について」のコメント、16ページの総合評価のコメントについて、委員長からご指摘のありましたとおり文言の修正をいたします。

**【西崎委員長】**

その他に、資料1の11ページのコメントにつきまして、「一層の」を加えて、「男性職員への一層のフォロー」としてください。

**【事務局】**

承知いたしました。これらの修正につきましては事務局が委員長と相談させていただき修正いたしますので、お任せいただきたいと思います。

**【西崎委員長】**

ご意見等ありませんか。

(意見・質問なし)

では、修正については事務局に一任し、議事(1)を終了させていただきます。

## 議事(2)

### 【西崎委員長】

次に、議事(2)「平成26年度財務諸表に係る知事の承認について」事務局より説明願います。

### 【事務局】

(資料4及び「平成26年度財務諸表に係る承認申請書(写し)」により説明)

### 【西崎委員長】

ありがとうございました。

ご質問ご意見ありましたらお願いいたします。

### 【加藤専門委員】

資料4の2ページ目の参考資料で、「当期総利益は58百万円となった」とあり、「損益の状況」の表中で当期剰余金も58百万円となっているが、これは同じことですね。損益計算書では最後に当期総利益とあり、貸借対照表では「利益剰余金」の内訳に「当期総利益」が記載されている。同じページの資料で使い分けしているのは何か理由がありますか。

### 【下田委員】

「損益の状況」の表中で使用する場合は「当期総利益」の方が適切と思われます。

### 【事務局】

今後に向け、参考資料の記載内容も精査いたします。

### 【西崎委員長】

目的積立金取崩額14百万円とありますが、当期総利益が58百万円ですので取崩す必要があったのかご説明願います。

### 【工業技術センター】

年度が終わって見れば結果的にそのとおりですが、当初予算において経常的支出でないものについて目的積立金を取り崩して充てることで予算化しているものです。その後、収益増や支出減により最終的に利益を計上することになったものです。

### 【西崎委員長】

わかりました。他にご意見ご質問ありませんか。

(意見・質問なし)

それでは議事(2)については、委員会としての意見は「なし」といたします。

## 議事(3)

### 【西崎委員長】

次に、議事(3)「剰余金の翌事業年度への繰越しに係る知事の承認について」事務局より説明願います。

【事務局】（資料5により説明）

【西崎委員長】

ただ今の説明につきまして、ご質問ご意見ありましたらお願いいたします。

（意見・質問なし）

ないようですので、議事（3）についても委員会としての意見は「なし」といたします。

議事（4）

【西崎委員長】

次に、議事（4）「地方独立行政法人岩手県工業技術センター第3期中期目標(案)について」事務局より説明願います。

【事務局（高橋総括課長）】（資料6により説明）

【西崎委員長】

ただ今第3期中期目標(案)について説明がありましたが、ご質問ご意見ありましたらお願いいたします。

（意見・質問なし）

ないようですが、本件につきましては、会議資料にあります「意見照会票」で意見を事務局に送るということで、事務局よろしいですか。

【事務局】（資料6により説明）

はい、8月21日金曜日までにご意見をいただきたいと存じます。

【西崎委員長】

他にご意見、ご質問ありませんか。

（意見・質問なし）

それでは、以上をもって議事を終了いたします。